

# 令和5年度 学校保健委員会 だより

2024.1.31(水)発行

美里町立美里中学校

## 【学校保健委員会について】

### A-1 学校保健委員会の目的

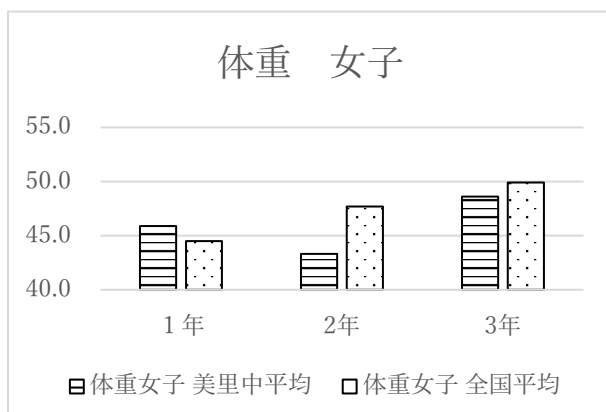
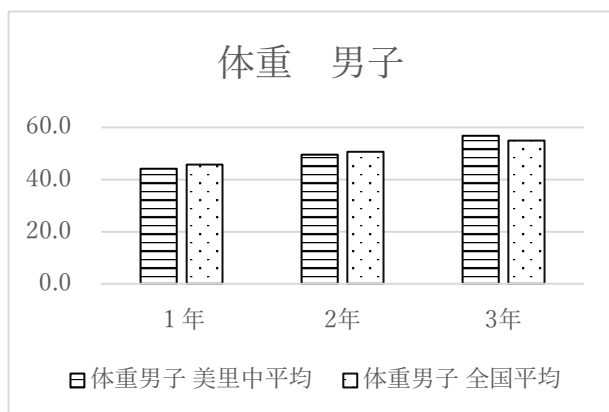
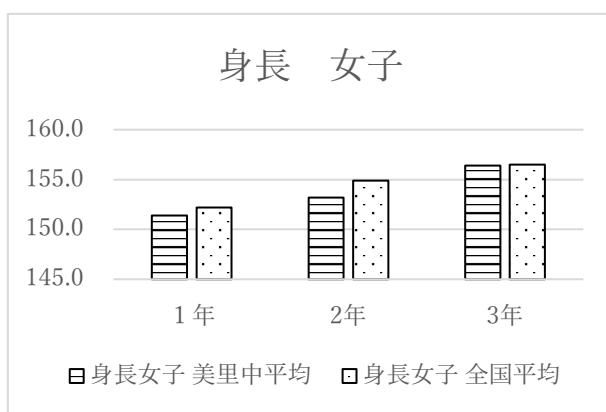
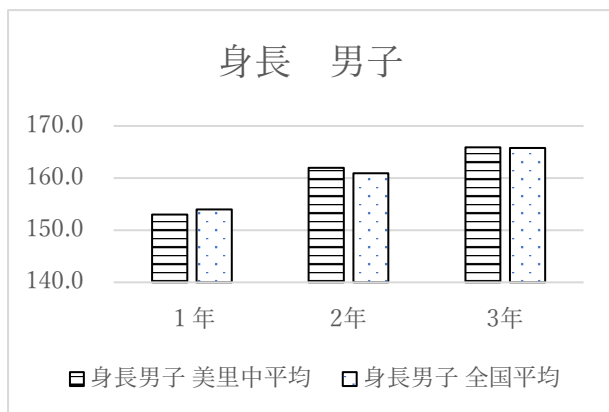
生徒の健康の保持・増進を図るために、関係機関や保護者の方々と連携して子供たちの健康問題に対応できるよう、研究・協議し、学校での健康づくりを推進する委員会です。

### A-2 今年度の開催方法

学校医からのご助言・ご指導のもと、感染症対策のため対面での開催はなく、学校保健委員会だよりの配布による紙面開催としました。

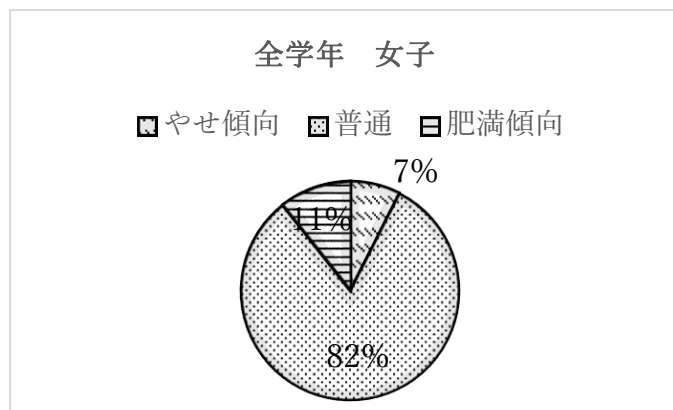
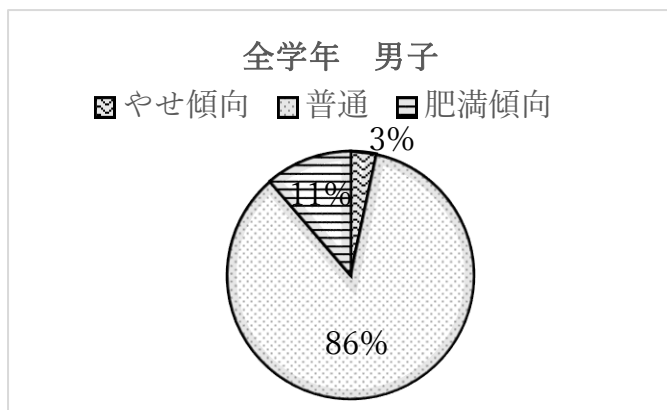
## 【健康診断結果】

### B-1 身体測定結果



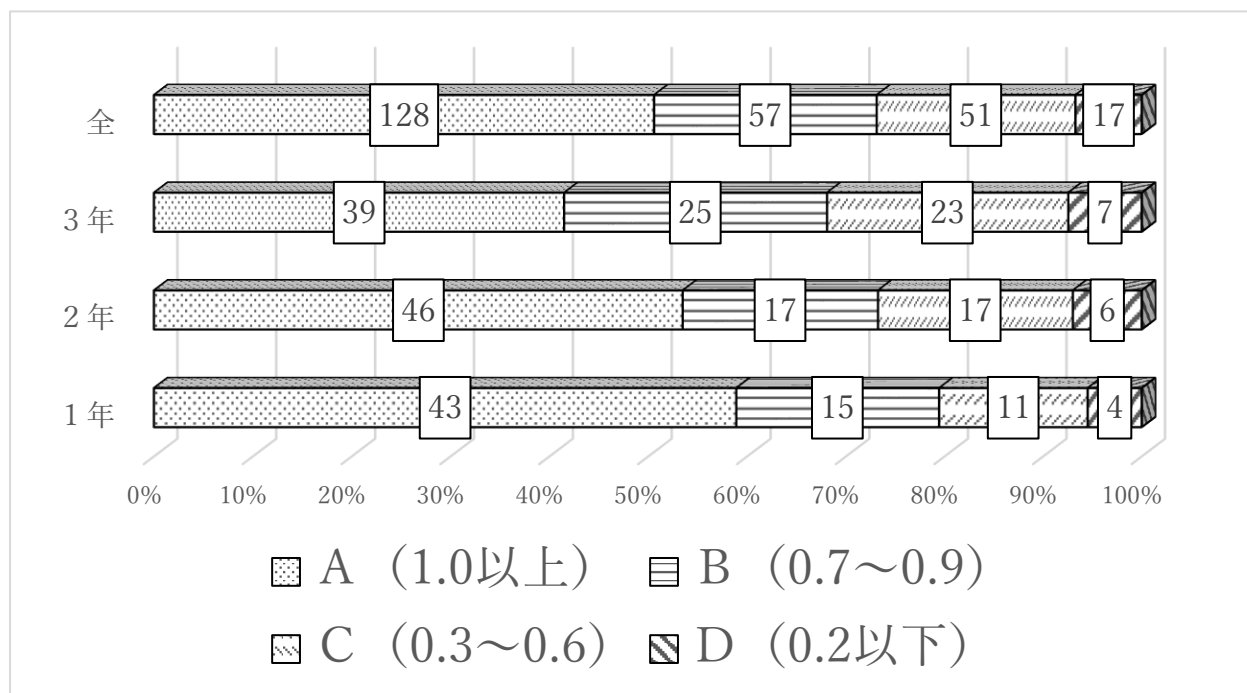
全学年とも全国平均と比較して身長は大きな差はないが、体重を見るとやせ型の生徒が多い。

## B-2 やせ・肥満



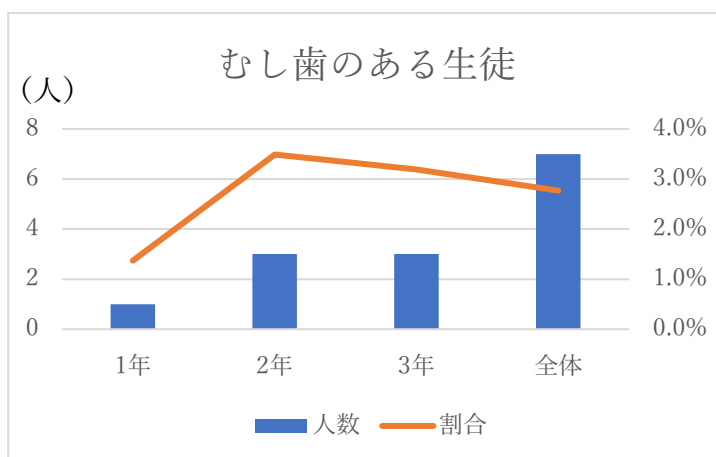
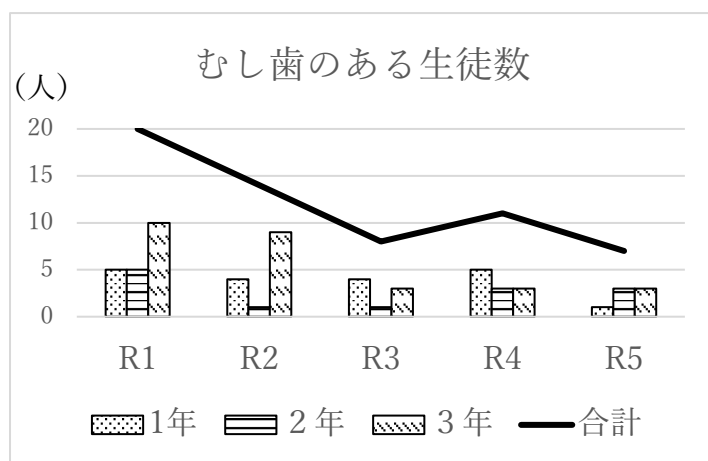
女子は、男子と比べてやせ傾向の生徒が多い。  
肥満度 50%以上の生徒は 2 名いる。

## B-3 視力集計



学年が上がるにつれて、1.0 以下の生徒が多くなっている。  
タブレットやスマートフォンの利用時間が多くなっている可能性がある。

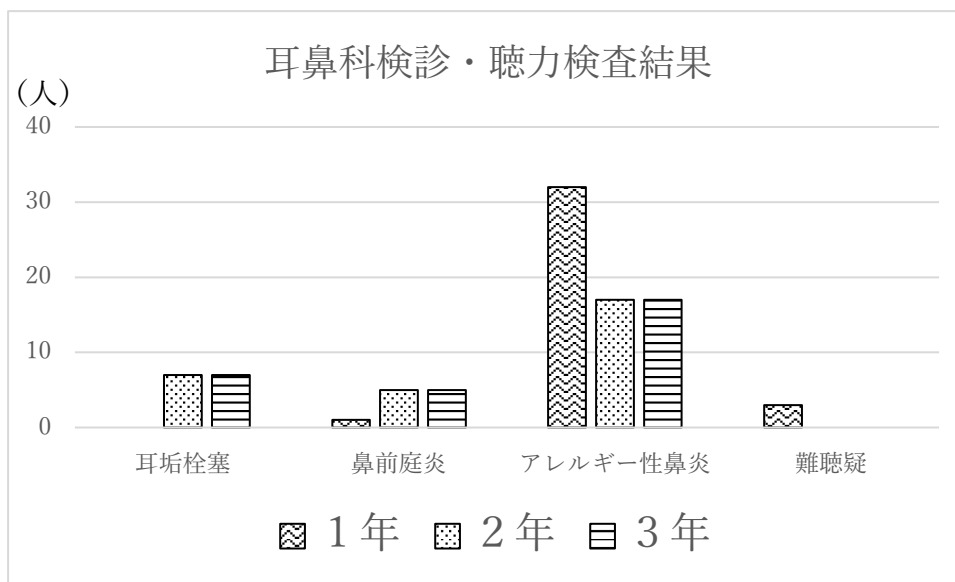
## B-4 歯科治療



むし歯のある生徒の数が年々減少傾向にある。来年度はさらに減少していけるように歯みがきキャンペーンや歯科啓発活動を継続する。

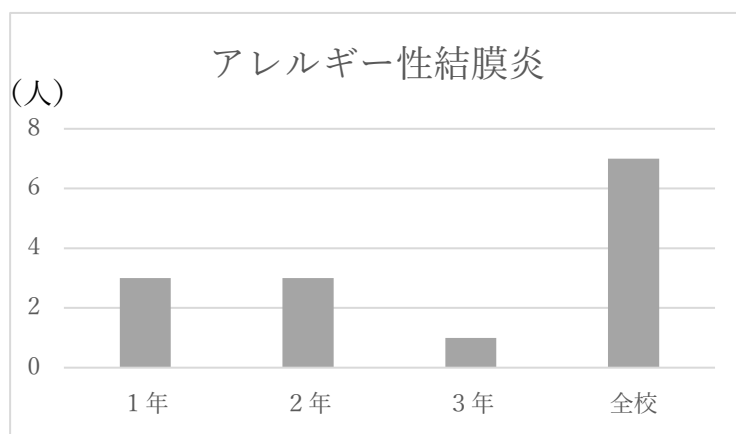
今年度11月の時点でむし歯治療率100%を達成した。要注意乳歯やCO要相談の治療が終わっていない生徒がいるため今年度中に治療を終了させる。

## B-5 耳鼻科検診



1年生は全員受診のため(2,3年生は希望者のみ)1年生のアレルギー性鼻炎の診断を受けた生徒が多くなった。

## B-6 眼科検診



今年度、斜視や霰粒腫、さんりゅうしゅ 睫毛内反症と診断された生徒はいなかった。しょうもうないはんしょう

## B-7 内科検診

脊柱側弯症の疑い 6名

四肢の状態の検査の結果「関節の稼働制限の疑いや痛みがある生徒 1名

尿検査の結果、病院への受診対象者 1名

脊柱側弯症の疑いの生徒が毎年5名以上出ているため、日ごろから姿勢に注意が必要である。

## 【生徒会保健委員会の取組】

### C-1 歯に関するポスター

生徒会保健委員が作成し、各教室や廊下、水道付近に掲示しました。



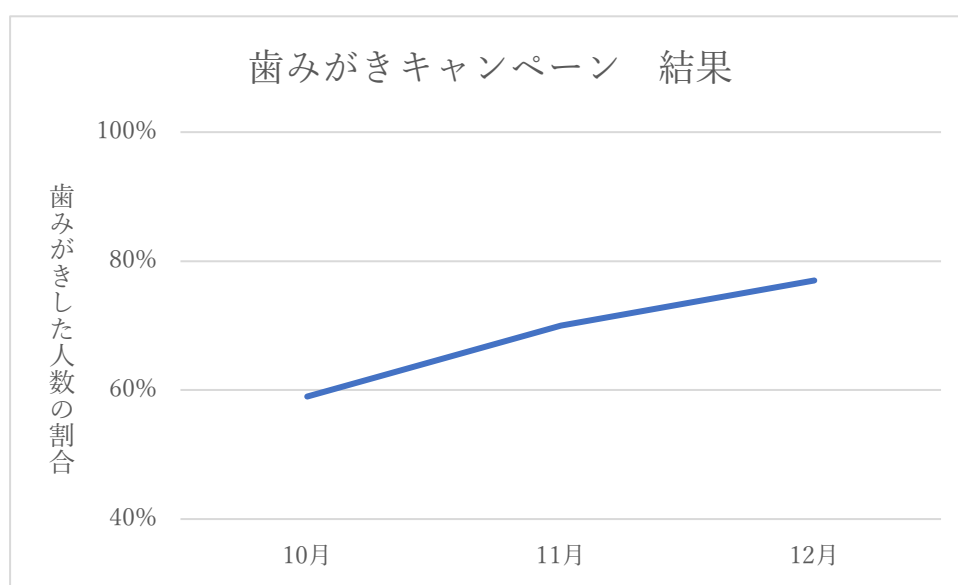
## C-2 歯みがきキャンペーンについて

### ①目的・方法

新型コロナウイルス感染症の影響のため給食後の歯みがきは自粛していた。そのため今年度4月当初は、給食後に歯みがきをする生徒は1クラス10人程度だった。そこで、本キャンペーンを通して、給食後の歯みがきする人を増やし、生徒の昼の歯みがき習慣をつくるために行った。

第1回歯みがきキャンペーンは「歯みがきに意識を向ける」。第2回は「歯みがきする人を増やす」。第3回は「正しく歯をみがく」と段階を踏んでキャンペーンを行った。帰りの会で、歯みがきした人数を生徒会保健委員が数え次の日の給食の時間に歯みがき100%だったクラスを発表し全校に啓発した。

### ②結果



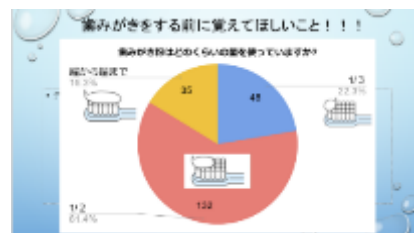
学校全体で歯みがきしている割合が着実に増えてきている。生徒の歯みがきに対する意識も上がっている。第3回歯みがきキャンペーンの前に全校朝会で、「歯みがきをしよう」というテーマで生徒会保健委員会が発表したことが、第2回よりも歯みがきする生徒の増加に繋がったと考える。今後も、生徒会保健委員会で歯みがきキャンペーンを計画し、全校生徒歯みがき率100%を目指す。

### C-3 生徒会朝会での発表について

12月15日(金)生徒会朝会で保健委員会の発表がありました。

歯みがきキャンペーンを通して歯みがきする生徒は増えてきているが、改めて「歯みがきの仕方」について考え、よりよい歯みがきの方法について伝えました。

発表にあたって、生徒会保健委員の歯みがきに関する疑問を学校歯科医の深町元秀先生にインタビューをしたり、全校生徒に歯みがきに関するアンケートを行ったり、計画的に準備をし、充実した内容の発表をすることができました。



発表に使った資料の一部です。右側の資料は、全校生徒のアンケート結果です。



発表の様子です。保健委員会を3つのグループに分けて発表しました。

#### 【保護者の方へ】

今年度、保護者のみなさまのご協力のおかげで、11月におし歯治療率100%を達成することができました。また、おし歯罹患率も年々減少しており、歯科口腔の状況も良くなっていることがわかります。今後も家庭や地域と連携して学校保健を進めていきます。次年度もご協力よろしくお願いいたします。